

お遊戯会通信 (MEGUMI通信 第27号)

新高山めぐみ幼稚園 2022年2月28日 (月)



第44回 お遊戯会 オペレッタのあらすじを紹介します



“ブレーメンのおんがくたい” (桃組・赤組)

音楽好きのロバ、イヌ、ネコ、ニワトリは、ブレーメンの町で音楽隊に入ることになりました。

ブレーメンへの旅の途中、思いがけずどろぼうに出会ってしまったから、さあ、大変……。

自分らしく表現しながらも友だちと息を合わせてセリフを言ったり、歌ったりしているところを温かく見守り、応援して下さい。



“おむすびころりん” (緑組・黄緑組)



むかしむかし・・・あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。

働き者のおじいさんは、おばあさんの持たせてくれたおむすびを持って、山へ芝刈りに出かけました。

ひと休みしようとおむすびを食べようとしたおじいさん、「ころりん」・・・とおむすびが転がり落ちました。

転がるおむすびを追いかけて、ずっと～ん！！おじいさんとおむすびは穴の中へ落ちてしまいました。

穴の中では大勢のねずみ達がうたやごちそうで、おじいさんをもてなしてくれました。

楽しいひと時を過ごしたおじいさんが帰ろうとすると、ねずみ達は大きなつづらを持たせてくれました。

それを見ていた隣のおじいさんは、「宝物だ・・・！！」と自分もおむすびを持って山へ出かけて行きました。

無理矢理、穴の中へ入ったおじいさん、つづらをみんな自分の物にしようと「にゃーご、にゃーご」

大声でねこの真似をして、「しめしめ・・・」と思ったその瞬間、急に辺りが暗くなり、ねずみ達もつづらも全部消えてしまいました・・・。



“さんびきのこぶた” (黄組)

3匹のこぶたの兄弟は、お母さんに言われて自分のお家を作ることになりました。

長男のこぶたはワラのお家を、次男のこぶたは木のお家を、三男のこぶたはレンガのお家を作りました。

そこにおおかみがあらわれました。「トントントン、開けて下さいな」「だめですよ」。そこでおおかみは息をフーとはいて長男のワラのお家を吹き飛ばして、長男のこぶたをペロッとたべてしまいました。

次におおかみは、次男の木のお家をフーと息をはいてたおして、次男もたべてしまいました。

最後におおかみは三男のレンガのお家も息をフーとはきました。レンガのお家はたおれません。ドカーンと体当たりしました。しかし、レンガの家はびくともしませんでした。

おおかみは「ごめんなさい」と謝りました。めでたしめでたし。



“ながぐつをはいたねこ” (青組・白組)

むかしむかしあるところに、とても貧しい青年カラバがいました。

ある日、お父さんが亡くなり、青年にはねこが分け与えられました。

がっかりしていると、ねこが「私に大きな袋と長靴をください」と言いました。

そうすれば、とてもいいことが起きると言うのです。

言う通りにすると、ねこは大きな袋を使ってうさぎを捕まえ、王様のところへ行って「カラバ侯爵からの贈り物です」と言いました。

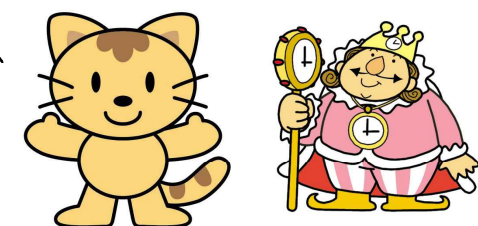
カラバ侯爵というのはねこが青年に勝手につけた名前でしたが、王様はすっかり信じ込み、ねこからの贈り物を受け取りました。

ある日、ねこは青年に川で水浴びをさせました。

そして、そこを通りかかった王様とお姫様に向かって「カラバ侯爵が水浴びをしている間に、大事な服を盗まれた」と嘘をつきました。

それを聞いた王様は気の毒に思い、立派な洋服を青年に贈りました。

そのあとも、ねこは青年の幸せのためにさまざまな知恵を働かせます。☆



出所：arasujikun.comより一部変更。

夢と希望の物語です☆